

設計者・施工者ワークショップが始まりました！

長門湯本温泉の住まいづくりに関わる、市内の設計者、大工・工務店、製材所、建材業者などを対象とした、設計者・施工者ワークショップが始まり、第1回目を平成29年5月19日（金）夜、湯本温泉旅館協同組合会議室において、開催しました。

住民や観光事業者を対象としたガイドラインの検討と並行して、実際に設計を担当する設計者、工事を請け負う施工者がガイドラインの内容を共有することで、長門湯本温泉らしさが一つ一つの工事を通して積み上がり、実効性のあるガイドラインとなります。

今後、複数回のワークショップを通して、設計者・施工者側から考える長門湯本温泉らしさとそれを守り育てるガイドラインの在り方について議論していきます。

住まい手・作り手・観光事業者が一体となり、長門湯本温泉らしい町並みづくりを推進していきましょう！



長門湯本温泉らしい住まいについて
意見交換



長門湯本温泉のいにしえ写真で
意見交換

“Thanks ONTO” が開催されました！

1427年の開湯から600年以上の歴史を誇る長門湯本温泉。その中でも長きにわたり地元の人たちに愛されてきた公衆浴場「恩湯」が、2017年5月、建替えのために一旦営業を停止します。

そこで、長門湯本温泉の象徴とも言える恩湯にこれまでの感謝を込めつつ、より良きこれからのまちづくりをたっぴりと語り合うイベント【Thanks ONTO ～恩湯に感謝を込めて未来へ～】が平成29年5月20日（土）に開催されました。

恩湯での足湯に浸かりながらの「ながトーク」、焼き鳥やピッツァ、ハンバーガー、カフェ、バー等の飲食店の出店、音信川での琴の生演奏、夜間照明の演出、川沿いの手作りカウンターを設置など、長門湯本温泉観光まちづくりが目標としている賑わいを感じさせるイベントでした。



恩湯で行われた第3回ながトーク



湯本に7月open予定のカフェが出店



琴の生演奏の様子



木製テントによるバーが開店



夜は音信川や千代橋がライトアップされ、
琴の生演奏が行われました！



これから広場となる場所を活用、たくさんの方が来場、
将来のにぎわいを実感！！

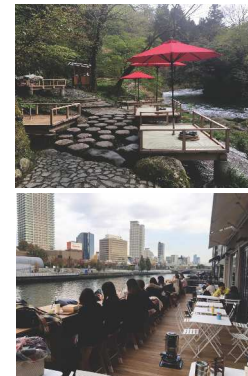
第1号 平成29年5月26日発行



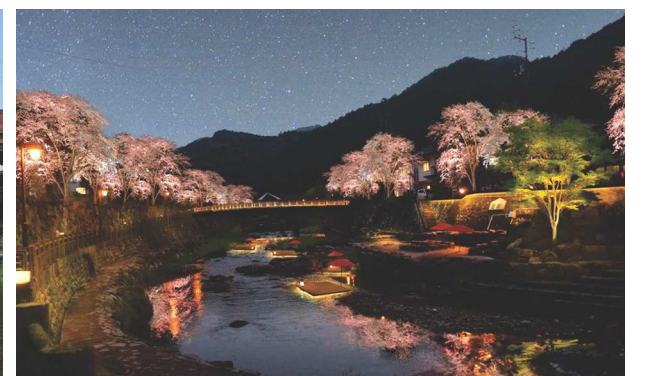
発行：長門市 経済観光部 成長戦略推進課

長門湯本温泉のまちづくりが進んでいます！

長門市では昨年8月に長門湯本温泉の再生を目的とした「長門湯本温泉観光まちづくり計画」を策定し、本年3月には湯本区・門前区・三ノ瀬区を対象区域とした「長門湯本地区景観計画」を策定しました。長門湯本温泉では、長門湯本温泉観光まちづくり計画に伴う整備(恩湯や礼湯・雁木や竹林の階段・駐車場等)と並行して、長門湯本温泉が観光地として魅力ある景観づくりをする為に、皆で守るルールとしてのガイドラインづくりと川床・夜間照明・交通などの多様な社会実験を通したまちづくりを進めていきます。



川床の社会実験イメージ



夜間照明の社会実験イメージ

第1回住民ワークショップを開催しました！

平成29年5月20日（土）午後、湯本温泉旅館協同組合会議室において、第1回住民ワークショップを開催しました。

住民ワークショップでは、まず始めに長門湯本温泉の今後のまちづくりの進め方を紹介しました。その後、長門湯本地区のまち歩きを実施し、長門湯本温泉の今後の整備を体験すると共に、長門湯本温泉らしさや魅力、問題点を意見交換しながら歩きました。会場に戻り、まち歩きで考えたことや意見交換したことを、①観光まちづくり、②ランドスケープと河川利用、③建築とリノベーション、④夜間照明、⑤交通の5つのテーマで話し合いました。意見交換した内容は、裏面のまち歩きマップにまとめていきます。



1. 専門家による進め方の説明



2. 参加者全員でまち歩き



3. まち歩きマップづくり



4. 成果マップを発表

第2回住民ワークショップを6月11日（日）に開催します

第2回住民ワークショップ「長門湯本温泉らしい夜間景観と町並みを考える」

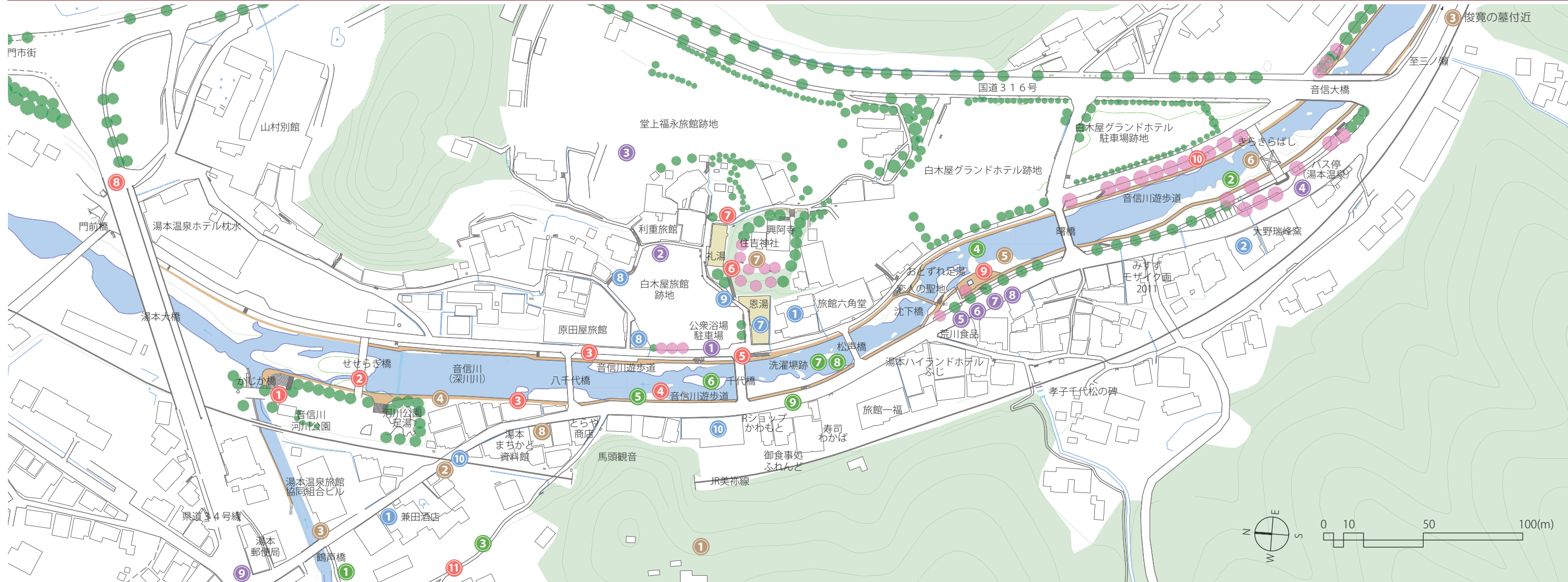
日時：平成29年6月11日（日） 13：00～16：00

場所：湯本温泉旅館協同組合2階 会議室

参加者：地域の方なら、どなたでもご参加できます！お気軽にご参加ください！（参加無料）

まちあるき成果マップ

ワークショップで作成したまちあるきマップをまとめました！！



1. 夜間景観グループ

- ① 河川公園の桜はおすすめのお花見の場所。ラブ花火の時にはキャンドルの演出が楽しい。
- ② せせらぎ橋は形の良い橋なので、ライトアップしたらよい。公園からも眺められる。橋は重要。
- ③ 音信川に面した旅館や住宅も河川の景観をつくっているため夜間景観に活かさないか。
- ④ 音信川遊歩道の護岸は夜間景観に活かそう。蛍が飛ぶのでそれも夜の風景。
- ⑤ 恩湯と千代橋はお祭りの舞台でもあり、まちの中心。湯本には「ほっとするあかり」が似合う。
- ⑥ 住吉神社の境内は大切な場所。階段の大きな紅葉や桜はライトアップなどできたらよい。
- ⑦ 新しくできる大階段の両脇が竹藪なら、京都のようにライトアップするのはどうか。
- ⑧ 316号線から湯本温泉入口にかけては暗くて不安な場所がある。
- ⑨ 足湯から見えるまわりの風景の演出が重要。橋や樹木などの夜の景色を検討したほうが良い。
- ⑩ 桜並木のライトアップがあったら良い。
- ⑪ 大寧寺のモミジや桜も名物でライトアップも行っているがもっとやってほしい。遊歩道も大切。

2. 観光まちづくりグループ

- ① 線路を越え木々が生い茂る山道を抜けると、ぱっと湯本の全景を眺められるオススメの場所！
- ② 一両編成の電車と温泉旅館や趣ある町並みを一緒に見ることができる。写真に取りたい場所。
- ③ 湯本温泉の入口というと、俊寛の墓あたりと、鶴声橋のあたりではないか。
- ④ 音信川には以前はホテルや、美声で和歌などにも読まれたカジカがたくさんいた。ここで養殖していたはず。生き物のいる、静かな自然を感じられる環境も残したい。
- ⑤ 足湯につかりながらホテル鑑賞や小動物を眺めることができると良い。
- ⑥ きらきら橋など川辺で本を読みながらビールを飲むのが楽しい。
- ⑦ 住吉神社は温泉祭りや恩湯とのつながりがあり大切だが、木々に囲まれ存在がわからない。
- ⑧ まちかど資料館をもっと活かしたい。
- ⑨ 夜まで営業している飲食店が少ないため、夜の楽しみ、回遊性が少ない。
- ⑩ 旅館以外にお土産屋があったほうが、地域の名産や名物がわかって良い。

3. 交通計画グループ

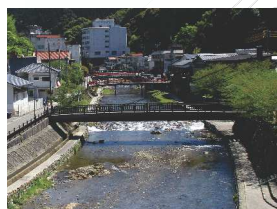
- ① 公衆浴場駐車場が移設されるため、高齢者や障がいのある人が使える駐車場が必要ではないか。
- ② 利重旅館周辺の路地については、人が通りやすくなるよう整備が必要。
- ③ 新しく整備される公共駐車場から川の方へ降りる道が必要。上りはエスカレーターなどがほしい。
- ④ 路線バスは利用者が少ないため、通さなくても良いのではないか。
- ⑤ そろそろ歩きができる広い歩行空間を創出し、テーブルや椅子、店舗等を配置して賑わいある空間とするため、音信川左岸側の道路を三ノ瀬方面への一方通行としてはどうか。
- ⑥ 将来的には、道路上で収益活動を行い、道路の維持管理や充実に還元できれば良い。
- ⑦ 歩行空間が広がると、路上駐車が増加や渋滞が発生するのではないか。路上駐車は排除すべき。
- ⑧ 大型バスや荷さばきトラック（4トン車）が走れる幅が必要。
- ⑨ 湯本郵便局直近の交差点部が、湯本温泉街への玄関口になれば良い。
- ⑩ 将来的に駐車場が足りないのではないか。各旅館の駐車場の利用状況はどうか。

4. ランドスケープ・河川利用グループ

- ① 蛸は長門湯本の観光資源である。玉仙閣近くの大寧寺川水辺の広場、門前橋周辺、大谷山荘上流で蛸がよく見られる。地域で協力して、夜8～10時の間など一定時間照明を消すことも考えられる。
- ② きらきら橋から曙橋までの桜の並木は長門市内で一番の桜並木だと感じている。
- ③ お地藏様のこみちは良い雰囲気のみちであるが、枝分かれするみちを含め夜は暗い。
- ④ 5月には、おとずれ足湯付近で鯉のぼりを飾っている。恩湯付近など他の場所でも飾りたい。
- ⑤ 足湯～八千代橋区間の石垣の隙間から雑草が生え、河川遊歩道を挟めることがある。蛇が出て危険。
- ⑥ 張出道路のアーチに増水後に大量のゴミがかかる。行政ですぐに対応できない場合は地元有志でゴミの撤去を行っている。
- ⑦ 音信川で泳ぎができる安全なスペースを確保できると良いと思う。
- ⑧ 音信川沿いに自動販売機などで鯉の餌販売があると良いと思う。
- ⑨ 歩道と車道を明確に分離しなくても、道路の構造や路面表示などを工夫して歩車共存の空間として運用することも考えられるのではないか。

5. 建築・リノベグループ

- ① 恩湯の隣の住宅、兼田酒店の住宅などは古くからあり文化財級なので残していきたい。門構えも立派。
- ② 2階の窓が連続する建物は置屋(芸者さんの住宅)や旅館の特徴。温泉街らしい外観。
- ③ 周辺の集落には平屋の母屋と2階建ての納屋がセットになった美しい赤瓦の民家が多い。門前や三ノ瀬にも見られる。
- ④ 赤瓦は農家の住宅、黒瓦は漁師の住宅という位置づけであったという話を聞いたことがある。
- ⑤ 赤瓦の屋根はあたりまえすぎて、その良さに気づいていなかった。現在では少なくなりつつある。
- ⑥ 湯本だけではなく、三ノ瀬や門前にも美しい庭や門がある住宅が多くある。
- ⑦ 昭和30年頃の恩湯は、純和風のデザインで趣がある。道後温泉を見て真似たという話もある。
- ⑧ 原田屋旅館裏の路地沿いにある建物や公衆浴場駐車場隣の4階建ての建物なども活用できるかも。
- ⑨ 恩湯の裏にあった焼き鳥屋が復活してほしい。三ノ瀬にある外郎屋さんも重要である。
- ⑩ 千代橋前の建物は昔土産屋であった。また踏切前の建物は駄菓子屋であった。



② せせらぎ橋



③ 音信川に面した景観



② 美祿線の通る風景



⑤ 音信川沿いの足湯



① 公衆浴場駐車場



⑤ 狭い歩道と路上駐車



① 大寧寺川水辺の広場



② きらきら橋からの桜



① 恩湯の隣の建物



② 置屋のデザインが残る